

宮元陸・加賀市長の マニフェスト(政策提言)

3期目の実績と検証

セミナーハウスあいりす@加賀市山田町
2025年6月22日（日）14:30～

マニフェスト検証大会

マニフェスト（政策提言）の自己評価結果

実施率 100%（18施策・34事業）

- Vision1 世界に通用する人財を育成し、先端技術に適應できる企業が集積するまち
5施策・8事業
- Vision2 人々の生活に「ワクワク感」が満ちる未来型生活都市
6施策・8事業
- Vision3 自然・歴史・文化とテクノロジーが織りなす温泉共創地
3施策・5事業
- Vision4 先端技術を活用して全世代に元気と福祉をとどけるまち
4施策・13事業

完了段階 2事業 / 実施段階 32事業

Vision1 世界に通用する人財を育成し、 先端技術に適応できる企業が集積するまち

30点
(40点満点)

世界のクリエイターたちが集うクリエイターハブの形成

- ▶ デジタル技術者やアーティストといったクリエイターが数多く集まる場を創り、スタートアップ企業の集積につなげます。

3点/5点

若者が集まるデジタル大学の開設

- ▶ 先端技術を中心に各分野のエキスパートを講師に迎え、起業家・クリエイター・デジタル人財を育成するためのデジタル大学を創設します。
- ▶ 一般企業人のためのキャリアアップ研修やリカレント教育も実施します。

7点/10点

世界に羽ばたき活躍する若者の育成

- ▶ 自分自身で課題を発見し、解決できる思考力・判断力・表現力を身に付けた若者を育てるため、STEAM教育を強力に推進します。
- ▶ 官民学が連携して市内高校の魅力化を図り、市内外から選ばれる高校にします。
- ▶ 市内在住の学生の海外留学を支援し、世界に羽ばたく人財育成を行います。

11点/15点

e-加賀市民制度によるスタートアップ企業の集積

- ▶ e-加賀市民制度を創設し、e-加賀市民が法人設立の起業支援等や、一定の条件下、市民と同等のサービスを受けることができるようにすることにより、世界から人財を集め、スタートアップ企業の集積を図ります。

4点/5点

若者を魅了する次世代スマート農業の促進

- ▶ 農業者の所得向上と若者の就労促進を図るため、IoTによる生産プロセスの見える化や栽培データのAI分析を進めることで栽培技術を改善し、農産物の品質とブランドの向上につなげます。

5点/5点

Open AIへ戦略投資する世界的企業との連携

R6.11 北陸初



Microsoft AI



Microsoft for Startups Founders Hub

Microsoft Products

- Microsoft 365
- Microsoft Azure
最大 \$150K 無償
(約2,100万円)
- GitHub
- LinkedIn
- Power Platform
- Visual Studio
- Azure OpenAI Service
- OpenAI
- Dynamics 365
- Azure AI Studio

Partner Products

- Miro
- MongoDB Atlas

その他
プロダクト無償枠
Azure 技術支援
コミュニティ活動
などもあり

加賀市イノベーションセンターでAI人材育成の北陸拠点を開設

大学以外の人材育成も目標としている

R6.1 1

R8.4

金沢大学融合学域 加賀サテライトキャンパス開設

**宝塚医療大学
観光学部キャンパス開設**

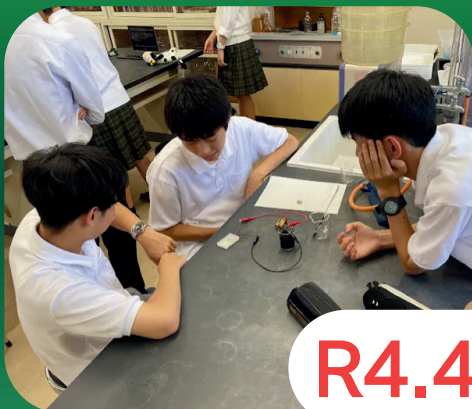
元

阪難波キャンパス(大阪市)などで構成される。同学園は東京、大阪、神奈川、愛知、福岡の5都府県で医療専門課程、文化・教養専門課程の

高校魅力化事業

世界に羽ばたき活躍する若者の育成を目指し、官民学が連携して市内高校の魅力化を図り、市内外から選ばれる高校にします。

大聖寺高等学校



R4.4 ~

やっちゃんえ、聖高！

地域おこし協力隊を3名雇用し、支援するなど学びの場を提供。
入試倍率が3年ぶりに1倍越える。

加賀 高等学校

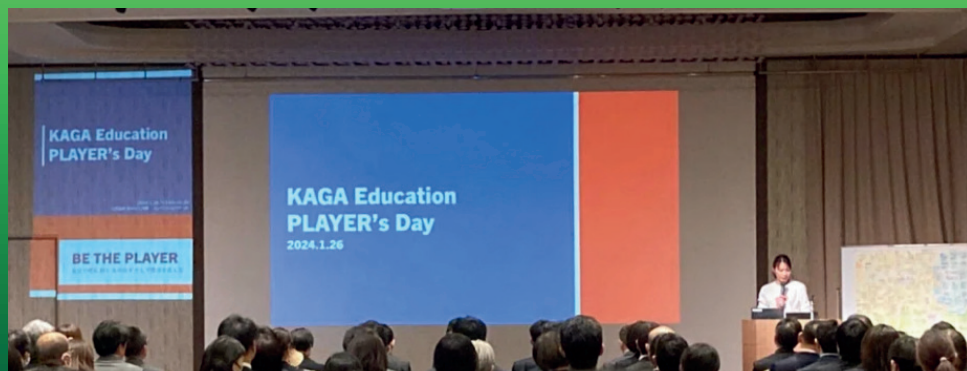
R7.6 連携校に



**法政大学
理工学部との
連携協定**

加賀市と法政大学との包括連携協定を活かし、理系人材の育成や地元企業へのUターンなどの道筋を策定した。

全国から注目される加賀市の教育改革



加賀市教育委員会の取り組みに
教育関係者が注目



NHKスペシャル
加賀市前教育長が出演



元慶応義塾塾長を
はじめ、
有識者・関係者が
加賀市の教育を評価



全国から視察が相次ぐ
300団体以上、約1000人

Vision2 人々の生活に「ワクワク感」が満ちる未来型生活都市

22点
(40点満点)

感性と体感で楽しむ未来型ショッピングゾーンを創造

- ▶ 多くの若者や観光客が行き交い、リアルとバーチャルと自然が調和し“五感で体感”できる商業ゾーンを整備します。

2点/5点

最適移動サービスを利用できるまちづくり

- ▶ 加賀温泉駅を拠点として、旅館送迎バスや介護送迎車のような各種交通サービスを連携させた移動サービス(MaaS)を実現させ、市民にも観光客等の来訪者にも優しく便利なまちを実現します。

6点/10点

空の物流・移動革命の実現

- ▶ 市内全域をカバーした3Dマップのデータを連携活用した物流飛行ルートを整備し、自動運転の宅配ドローンサービスを実現します。
- ▶ また、物資だけではなく「人」も運ぶ「空飛ぶクルマ」についても、山間部での利便性、緊急搬送や物資輸送の迅速化などの効果を期した実証実験に取り組みます。

6点/10点

世界から人財を呼びこむインテリジェント住宅エリアを整備

- ▶ スマートハウス、再生可能エネルギーを利用したオフィスやテレワーク施設、高度人材が集積する居住エリアを整備します。

2点/5点

体に優しい食や個性を大切にする

子育て・教育に関心のある方への住宅エリアを実現

- ▶ 体に優しい食材を子どもに与えながら、一人ひとりの個性を伸ばす子育て・教育を求めている人々が増えています。オーガニック農業を推進するとともに、そのような方々に移住してもらうための住宅エリアをつくります。

3点/5点

RE100で地域内循環と地産地消のエネルギータウンを実現

- ▶ 脱炭素を目指し、小水力や太陽光などの自然エネルギーを活用し、その恩恵を実感できる“エコ”なコミュニティをつくります。

3点/5点

未来型商業エリア にぎわいの創出を実現



第1期開発 2029年 オープン予定

- ・ 企業誘致
- ・ ホテル誘致
- ・ 加賀温泉駅を中心としたインフラ整備



②加賀市の次世代型産業集積の核を作っていく

加賀市版ライドシェア始動

R6.3 全国初



**自家用有償旅客運送で
バス・タクシーを補完する
運行区域の拡大 (小松市掛川以南まで)
運行時間の延長 (金・土のみ7:00-翌2:00)**



国土交通省 斉藤大臣試乗

国の規制緩和を積極活用

Uberと多角的に様々な移動手段を検討している

3000円で定期乗り放題

R7.7 全国初

加賀市の子どもや学生の通学、習い事の送迎、地域でのコミュニティ活動の移動課題を克服。高齢者のおでかけや通院などでもできるようになります。実証実験を行い、市民の声を集めながら検証していきます。



実証期間 令和7年(2025年)7月～9月

対象者 加賀市内に住む小学生・中学生・高校生、
70歳以上の高齢者

料金 3,000円(期間中、何度でも利用可能)
利用開始日から30日間有効

※チケットの販売はR7.6.26～

交通の課題を解消！ 行きたい時に行きたい場所へ

空の産業集積



R6.10



世界トップのエンジニアが加賀市に
フリードローン特区宣言



加賀市次世代エアモビコンソーシアムの
構成員26団体、オブザーバー7期間



R6.11

全国初



R6.11



日本航空株式会社と包括連携協定
空飛ぶクルマの運行ルールおよび整備新拠点の構築

夢の移動手段の実現に向けたプロジェクト推進

加賀市に実証コース

「空飛ぶクルマ」無操縦者機開発へ



ウィスク・エアロが開発する
無操縦者航空機の第6世代試作機
(同社ホームページより)



「空飛ぶクルマ」の実証飛行コースが
設けられる加賀市の防風林上空

市とボーイング、日航子会社合意

国内初 実用化へデータ収集

パイロットが搭乗する空中で移動する「空飛ぶクルマ」の開発で、加賀市に国内初の実証飛行コースが設けられることになった。機体を開発する日本航空とボーイング社の両社が16日までに、同市と基本合意書を結んだ。飛行ルートは旧黒崎小間の防風林上空約5・7kmとなる。市が政府が認定を受けた加賀市防風林の特別措置を生かし、夢の移動手段の実現に向けたプロジェクトを後押しする。

フランス・パリで16日に
開かれた世界最大の航空
見本市「パリ国際航空シ
ョー」で発表された。

加賀市と基本合意書を交わしたのは、ウィスク・エアロ社（米カフォルニア州）とJALエンシニアリング（東京）。関係者によると、ウィスク社が開発を進めている無操縦者の「第6世代試作機（4人乗）」が、「空飛ぶクルマ」の実証飛行に使用される見込み。同機は15分間の充電により、時速203km/hで飛行し、14・8kmの航続距離を持つ。米カフォルニアで実証飛行を進めることも、日本が次世代モビリティの重要な市場となることから、関係市と連携することにした。市が「空飛ぶクルマ」のテストコースとしてニーズ調査に着手し、旧黒崎小間の防風林上空で、実用化と運航などの整備に必要なデータ収集に取り組む。米国では米連邦航空局からの無操縦者航空機の製造・試験や航空運送業者許可を受けるための実証に際し、加賀市は国家戦略特区を活用し、「空の産業」の創出、育成、集積を目指している。昨年10月に日本航空と

R7.6 国内初



ウィスク・エアロが開発した
航空機=石川県加賀市提供

試験飛行コース設定

市や日航子会社
操縦者のいない自動運転で
飛行する「空飛ぶクルマ」の
国内実用化に向け、自動運転
の試験コースが日本で初めて
石川県加賀市内に設けられ
る。市と機体整備などを手が
ける会社「JALエンシニア
リング」（東京）、米国の機
体開発会社「ウィスク・エ
アロ」が16日、フランス・パ
リで開かれたパリ航空ショー
で発表した。
3者は5月27日に基本合意
書に署名した。市内の旧緑
小・旧黒崎小の5・7kmにコ
ースを設定し、試験飛行を重
ねて実用化に必要なデータを
収集する。市は本年度中に宇
宙航空研究開発機構（JAXA）
や法政大などと協力し、
さまざまな調査をするとい
う。
使用する機体は
エアロの4人乗
で、最高速度は
*15分間の充
*飛行できる。
安全性などの基
機体に与えられ
登録」に向けた
国内で進めたい
内に設定したコ
飛行すること
の型式認証登録
市によると、
役員は市内の
野に入れ、市内
の工場を見学し
長は「新規事業
を受け入れると
のものづくり産
新たな産業構造
つかけとなる」

■直近の主な動向

- ・ 2023年5月、JAL、JALEC、Wiskの間で無操縦者航空機の
日本での社会実装を目指す基本合意書を締結
- ・ 2024年10月、加賀市とJALの間で包括連携協定を締結
- ・ 2024年11月、加賀市次世代エアモビリティコンソーシアムを設立
- ・ 2025年5月、パイロット・プロジェクト
「エアモビリティ・ベースin加賀」の立ち上げ
- ・ 2025年6月、加賀市、JALEC、Wiskの三者間で基本合意書を締結

地元紙・各一面で報道
フランス・パリ航空ショーで発表
国内初の実証飛行コース設置へ

Vision3 自然・歴史・文化とテクノロジーが織りなす温泉共創地

14点
(25点満点)

温泉医療ツーリズムでインバウンドの促進

▶ 検査技術、医療施設において世界トップレベルにある日本の人間ドックと湯治文化を組み合わせ「加賀温泉医療ツーリズム」事業を行い、インバウンドの促進を図ります。

2点/5点

歴史・文化とスマートシティを体感できる体験観光の推進

▶ 「北前船日本遺産」と「城下町大聖寺の歴史都市」の認定を機に、本市の歴史・文化の深みを未来へ引き継ぎ、先端技術を取り入れながら、歴史文化を“体感”できる体験観光を創造します。

5点/10点

北陸新幹線加賀温泉駅開業を見据えた魅力的な温泉地づくり

▶ 加賀温泉駅前広場を市民や観光客の憩いの場として親しまれるよう整備するとともに、白山連峰を望む絶景スポット、柴山潟の湖岸と温泉街をつなぐ柴山潟周遊道整備など、景観に配慮した加賀温泉郷の魅力化に取り組みます。

7点/10点

加賀温泉駅前整備事業

R6.12 開業



R.8 春 開業

加賀温泉駅前広場に交流施設
ガレリアをオープン予定



にぎわい交流施設オープン



大聖寺城 国指定文化審議会答申

R 7.6 加賀市で4件目

国の文化審議会から文部科学大臣に加賀市の史跡「大聖寺城跡」の国史跡指定が答申されました（報道発表）
今後は官報告示を得て、正式に国指定史跡となる予定です。



- ・国の認定を受けた歴史的風致維持向上計画にもとづき、市指定名勝「江沼神社庭園」の整備に向けた検討を重ね、実施計画に着手した。
- ・大聖寺藩十万石に係る地域の歴史文化資産の活用など、地域と連携しながら計画的に推進している。
- ・長年の取り組みが認められて、国の文化審議会より国指定史跡として認められ、大聖寺城跡の国指定答申を受けた記者会見を地元団体・有識者等と行う。

多くの偉人を輩出した大聖寺藩の歴史文化を未来に繋ぐ

Vision4 先端技術を活用して全世代に元気と福祉をとどけるまち

48点
(65点満点)

情報銀行の導入による一人ひとりの医療健康情報に基づく 最適な医療サービスの提供

- ▶ 電子カルテ情報、健診・受診データ、介護データ等の市民一人ひとりの「個人データ」を本人に代わって保存管理し、本人の求めに応じて提供する「情報銀行」を導入します。
- ▶ その上で、各医療機関等が、本人から提供される「情報銀行」に保存している医療健康情報等に基づき、市民一人ひとりに最適な医療サービスを提供する体制を構築します。
- ▶ 併せて、個人情報やプライバシーを守り生かす取組を着実に実施します。

10点/15点

先端テクノロジーを活用したWell-Beingなまちづくり

- ▶ 先端テクノロジーを活用し、アフターコロナを見据え、全世代型のWell-Beingな健康長寿の施策に取り組みます。

24点/30点

全国トップクラスの子育て支援

- ▶ 妊娠期から子育て支援期までの切れ目のない支援と、子どもの育ちを見通した継続的な支援を行い、子育て世代が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を目指す「かがっこ応援プロジェクト」を更に充実したものにします。
- ▶ 併せて、幼児教育を含む子育て支援策を県内外に広くアピールして子育て世代の移住定住の促進を図ります。

8点/10点

電子投票と市役所へお出かけ無用の行政サービスの実現

- ▶ 決められた時間に投票所へ直接足を運ばなければならない等の制約のある現行の投票制度や、若者等の投票離れを改善するため、インターネットを通じて家や滞在先で可能な「電子投票」や「住民意向調査」の環境を構築します。
- ▶ 同時に、各種申請でハンコレス、市役所にお出かけ無用の行政サービスを実現します。

6点/10点

国家戦略特区 デジタル田園健康特区 認定までの歩み



- 2019.8
スマートシティ推進官民連携協議会設立
- 2020.3
スマートシティ宣言
- 2020.10
G20スマートシティパイオニア都市認定
- 2021.6
総務大臣表彰受賞
- 2021.10
**デジタル社会推進賞
デジタル大臣賞受賞**
- 2022.4～
**国家戦略特区
デジタル田園健康特区に認定**
空の産業集積～世界一ビジネスしやすいまち～



政府・中央省庁と連携した先行モデルの採択数が増加

特区

内閣府/デジタル庁



顔認証

顔パス受付

(R5.3月～)

※登録者数

約1,800人

(R5.6月時点)



市の電子申請



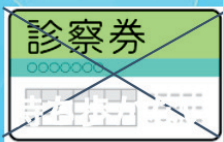
920種類

約1500

厚生労働省

電子カルテ

情報共有サービス (R6～)



特区



医療版情報銀行

子ども医療費受給
者証の統合(R6～)



加賀市民

マイナンバーカード

申請率 100.0%

交付率 96.8%

(R6.11月時点)

内閣府・デジタル庁

e-加賀市民証
との連携



特区

開業ワンストップセンター

マイナンバーカードを活用して利便性と安全性を両立する、より先進的なスマートパスの進化

加賀市の子育て施策 かがっこ応援プロジェクト

	加賀市	明石市
①こども医療費助成	18歳まで無料	18歳まで無料
②学校給食費	小・中学校ともに無料	中学校のみ無料
③放課後児童クラブ	第2子（小3まで）、第3子（全学年）以降 保育料無料	—
④標準的保育料	第1子以降無料	9,000円～62,500円 第2子以降無料
⑤遊び場	かがにこにこパーク （市民無料）	親子交流スペースハレハレ （市民無料）
⑥おむつ定期便	1歳まで無料（3か月から） ※支援員は、保育士、児童委員等	1歳まで無料（3か月から） ※支援員は、生活協同組合コープ職員
⑦不妊治療	実質無料	—

兵庫県明石市より手厚い支援を行う

画一的な教育から創造性を生み出す教育へ

幼児教育

初等・中等教育

レッジョエミリアアプローチ

子どもに自主性が出来た等の成果が出はじめた



加賀市教育委員会の取組に教育関係者
R6年度視察 約300団体・約1000人

質の高い幼児教育はその後の人生にとって極めて重要

総合評価

合計点

114点/170 点満点

達成率

67.1%/100%

ご清聴ありがとうございました

マニフェスト検証大会